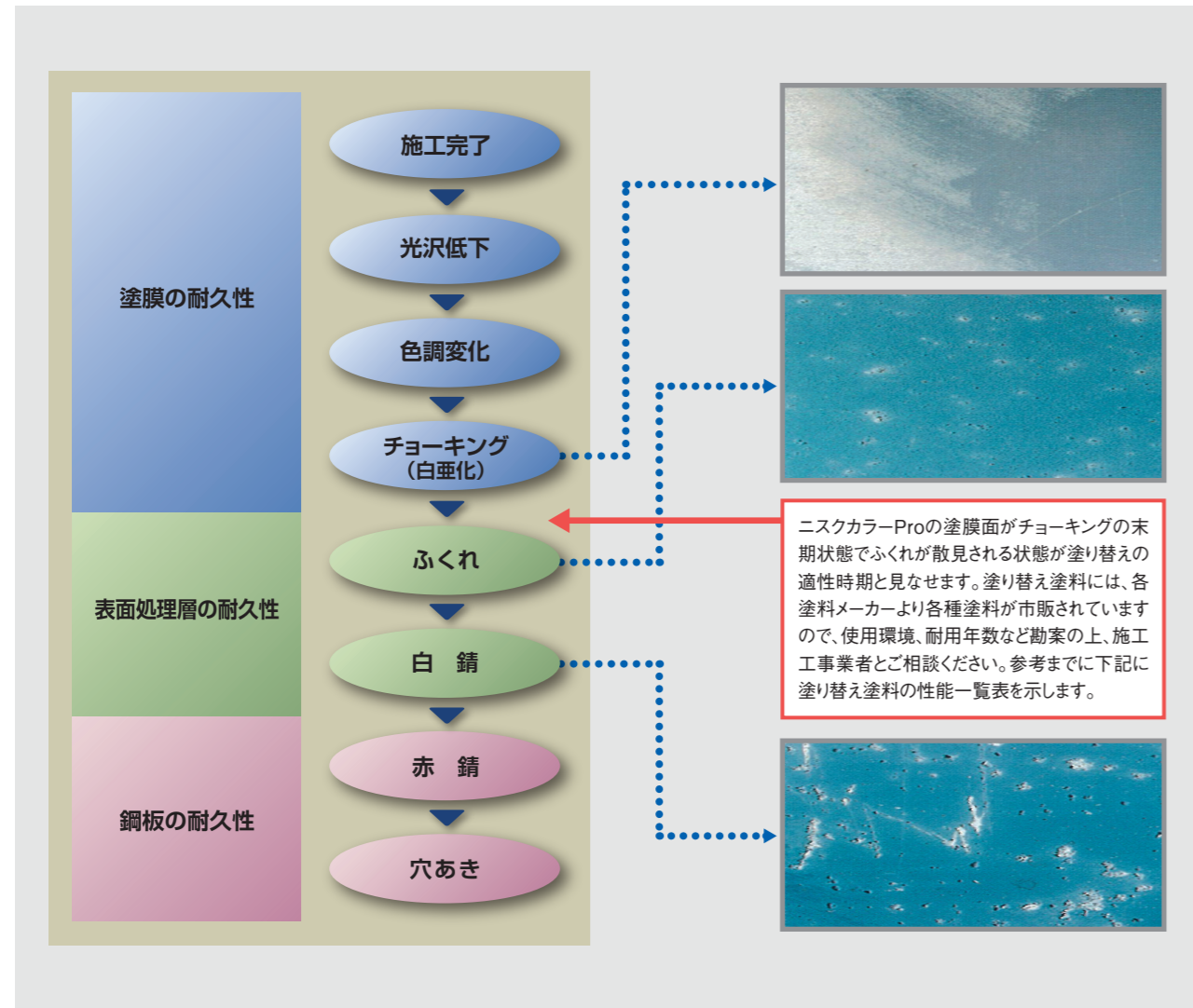


1. ニスクカラーProの塗り替えについて

① ニスクカラーProの塗膜劣化プロセス



② 塗り替え塗料の例

塗料系	コストイメージ	使用部位	推定耐久年数	推奨塗料
ウレタン系塗料	中	屋根(遮熱)	4~5年	サーモアイUV
シリコン系塗料	高	屋根(遮熱)	6~9年	サーモアイ(1液)Si
フッ素系塗料	高	屋根(遮熱)	7~10年	サーモアイ4F
ウレタン系塗料	中	外壁(耐汚染)	8年	ファインウレタンU100
シリコン系塗料	高	外壁(耐汚染)	13年	ファインシリコンフレッシュ
フッ素系塗料	高	外壁(耐汚染)	16年	ファイン4F セラミック

注) 推定耐久年数は、通常環境のもとで1回目の塗り替えを実施後、次の塗り替えまでの推定年数で保証するものではありません。

2. 部分補修方法について(アクリル系塗料を使用した場合の一例)

① タッチアップの場合

	塗料名(塗料系)	適用シンナー	希釈率	塗装方法	標準塗布量(g/m ² /回)	塗回数	塗り重ね乾燥時間
素地調整	ゴミ、ホコリ、その他の付着物は、完全に除去してください。						
上塗り塗料	①補修塗料A(アクリル系)	No.105 or No.580 シンナー	0~10%	筆又は刷毛	100~140	1~2回	1時間以上 48時間以内
	②アクライトNo.500(アクリル系)	アクライトNo.500 シンナー	0~10%	筆又は刷毛	120~150	1~2回	1時間以上 48時間以内

② 原板が露出した場合

	塗料名(塗料系)	適用シンナー	希釈率	塗装方法	標準塗布量(g/m ² /回)	塗回数	塗り重ね乾燥時間
素地調整	ゴミ、ホコリ、その他の付着物は、完全に除去してください。 #400~600サンドペーパーを用い軽く研磨し、錆を完全に除去してください。研磨で発生した研ぎカスも完全に除去してください。						
下塗り塗料	①ハイボン 20 デクロ	ハイボン エポキシシンナー	0~5%	刷毛	120	1回	16時間以上 7日以内
	②ウォッシュ プライマー	ウォッシュ プライマーシンナー	0~20%	刷毛	40~120	1回	16時間以上 7日以内
上塗り塗料	①補修塗料A(アクリル系)	No.105 or No.580 シンナー	0~10%	筆又は刷毛	100~140	1~2回	1時間以上 48時間以内
	②アクライトNo.500(アクリル系)	アクライトNo.500 シンナー	0~10%	筆又は刷毛	120~150	1~2回	1時間以上 48時間以内

施工上の要点

- ① 塗替え塗膜の寿命は、素地調整(浮き上がった旧塗膜、浮錆及び油脂、塩類等の除去清掃)の程度により多大の影響を受けます。素地調整には十分留意してください。又、劣化した塗膜上への塗装は、早期剥離、発錆の原因になります。
- ② 補修塗装は、浮き上がった旧塗膜、浮錆等を除去した後、素地の露出した部分及び仕上げの際、膜厚不足になりやすい部分に素地調整後速やかに行ってください。
- ③ 補修塗装は、原則として刷毛塗りで、凹凸箇所に塗料がゆきわたるように念入りに塗り込んでください。

注意事項

- ① この塗料の乾燥時間は、低温になると著しく遅くなります。乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生じるおそれがありますので、5℃以下の気温が連続する場合は施工しないでください。
- ② 常温乾燥型の塗料です。特にタッチアップ塗装の場合、元の部分とは耐候性に差があります。補修面積は極力少なくするようお願いいたします。
- ③ 塗り替え及び補修塗料については、色相により塗料メーカーが異なりますのでご注意ください。

屋根塗装リフレッシュの例



外壁塗装リフレッシュの例

